

鳴動する地面、 奔走する人間、 情報伝達と復興の震災史

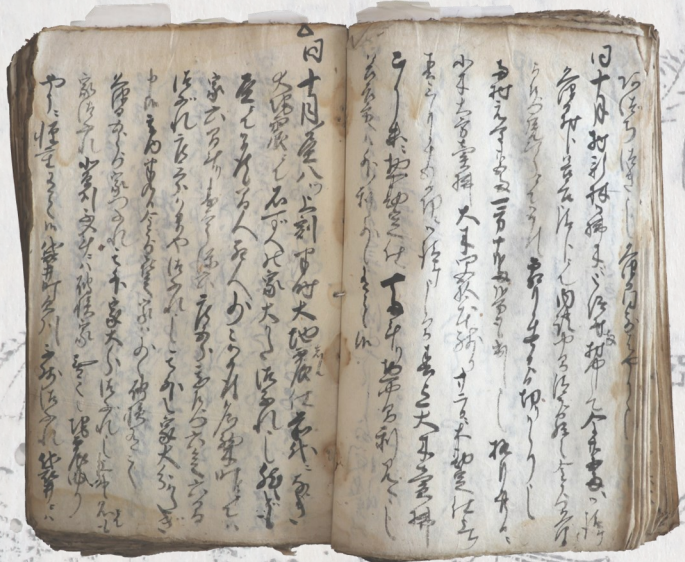


会場：袋井市歴史文化館（袋井市浅名1028番地／浅羽支所2階）

期間：令和6年10月7日（月）～12月20日（金）

月～金開館、土・日・祝休館

料金：無料



宝永地震、宝永噴火の新史料！

市内で3例目となる、宝永地震関係史料が発見されました。今回発見された史料には、震災のほか、富士山宝永噴火の記事に加え、これまで知られていなかった、袋井の復興に関わる記事も載っています。

また、史料を読んでいくと、それだけでなく、遠隔地の震災についても書かれていて、調べてみたらかなり正確な記事でした。

江戸時代の人、どうやって正確な震災情報を得ていたのでしょうか……？



法多山厄除観世音の再建記事

左の写真は、弘化2年(1845)に災害に遭った、法多山尊永寺厄除観世音を再建するため、寄付金募集を行った史料です。尊永寺ではなく、地域に残されていました。

寄付金募集にあたって、当時(1845年以前)の境内の様子を描いた絵が印刷されています。

ところで、この寄付金募集の「口上」を読むと、現時点では市内最古となる、きわめて現代的な内容が書かれています……

史料原本を展示中です。是非ご覧ください。

MAP

袋井市歴史文化館

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時開館
土・日・祝休館
入館無料
電話番号:0538-23-9269

【アクセス】

お車: 東名袋井ICから南へ車で約20分。
「浅名」交差点北側50m。
バス: JR袋井駅「南口・秋葉口」より秋葉中遠線
「大東支所・横須賀車庫」方面バス、
「浅羽支所」下車。



遠州灘